

県政特集 新事業創出・展開支援



宇都宮市内のインキュベーション施設に入居している人材派遣会社の(株)情報技研の皆さん。専門的な技術を持つ人材を育成し、派遣する新しいタイプの企業です。自動車や航空機産業で使われる設計支援ソフトの操作を研修しています

とちぎ 県民だより

3

2005 月号

編集・発行 栃木県広報課
平成17年3月15日発行

〒320-8501 宇都宮市壺田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 [2月1日現在]

2,016,071人(前月比-125人、前年同月比+3,080人)

◎男1,000,995人 ◎女1,015,076人 ◎世帯数709,445世帯

栃木県毎月人口推計速報

新事業にチャレンジ
あなたのやる気を
応援しています

県内には約十万を超える企業が活躍しています。また、毎年新たに、約三千社もの企業が創業しています。県内経済の活性化や雇用の創出のため、県は、創業や新事業展開に取り組む企業を応援します。

応援します
新しいチャレンジ

県では、創業や新たな分野へ進出する企業を応援するため、「とちぎベンチャーサポートプラネット21」という産学官連携のネットワークによる総合的な支援体制をつくりました。これは、栃木県産業振興センターを中核として、県の試験研究機関や大学、金融機関、産業界など三十四の機関で構成されています。この仕組みでは、創業から企業の研究・商品開発、販売に至るまでの各段階において、さまざまな支援を行っています。これらの支援を上手に活用していただくため、栃木県産業振興センターでは相談窓口を開設し、専門のコディネーターが、企業の課題解決のための支援策を提案しています。

企業の立ち上げをサポートします

創業間もない企業のためには、県内五カ所にインキュベーション施設を整備し、研究開発や技術の高度化に取り組めるように企業の立ち上げをサポートしています。入居企業には、栃木県産業振興センター

創業や経営革新を目指す皆さんへ
総合相談窓口のご案内

こんな時、ご相談ください
「創業したい」「販路を開拓したい」「資金を調達したい」「技術・新商品の開発を支援してほしい」など

相談先

栃木県産業振興センター(とちぎ産業創造プラザ内)
宇都宮市刈沼町369-1 ☎028-670-2607
月～金曜 午前9時～午後5時 相談無料

あなたの夢の実現と課題解決をサポート

企業の方から、年間1,100件以上のさまざまな相談を受けています。今まで相談にいらした方で開業したのは、300社を超えます。国や県、市町村、財団などの支援策を、その企業に合わせて紹介しています。最近では、新商品の販路開拓に関する相談が増えています。すばらしいアイデアや意欲を持ちながら、情報や資金、人材などが足りないときには、どうぞお気軽にご相談ください。



栃木県産業振興センター
コーディネーター
宮野 隆三さん

産学官連携で
商品開発

このほか、県では、新しいアイデアを活用して事業化を目指す方に、中小企業診断士などによる経営指導を行っています。また、企業の人材育成のため、各種セミナーを開催しています。



(有)エヌ・ピー・アールの皆さん

果を有効に活用したり、共同で研究開発したりするなど、産学官で連携した取り組みが活発に行われています。鳥山町の(有)エヌ・ピー・アールは、県内初の宇都宮大学学発ベンチャー企業です。町の製造業活性化協議会の仲間が、まち起こしにつながるような新しいものを開発しようという熱意をもって集まりました。大学との連携で自動車のフロントガラスの中間膜の廃材を利用し開発した商品は、ステンドグラスのような新しい質感の絵の具です。また、県のものづくり技術強化の補助金を利用して、研究開発されました。

社長の岩崎さんは、「商品の開発では宇都宮大学に、商品のデザインでは文星芸術大学に協力をいただきました。これからは、県内各地に商品を宣伝していきたいと思っています。」と話します。さらに、「この商品の製造を、町の高齢者の方にお願いするなどして、新しい雇用を生み出すことができれば」と将来の夢を語ってくれました。

新しい販路を
広げるために



首都圏企業約200社が参加しました

このほか、大手商社OBの方による取引先の紹介や、商品のPRのための展示会も開催し、新しい販路開拓につながる機会を提供しています。今後県では、独自の技術・優れた製品を持つ企業や、県の産業をリードするような企業の発掘、育成に努めていきたいと考えています。創業や新たな分野にチャレンジしたい方、ぜひ県の支援制度をご利用ください。

◇問合せ 県産業政策課

TEL 028-623-1320

目次

- 2面特集
新しい総合計画を策定しています
- 3面3面特集
父子手帳ができました!
ふるさと散歩
- 春の催し盛りだくさん
県営都市公園編
- 4面情報
栃木県からのお知らせ
文化情報 募集案内 ほか
- 花歳時記(ネコヤナギ)

※「インキュベーション incubation」とは、抱卵、ふ化。「新しい企業の育成」という意味です

「みんなで築く」とちぎの未来」 新しい総合計画を策定しています

県では、現在「栃木県総合計画とちぎ21世紀プラン」に基づき、さまざまな取り組みをすすめています。この総合計画の期間が来年三月で終了します。それに続く「新しい総合計画」(計画期間：平成十八年度～二十二年)を策定しています。この計画の第1次素案の概要をお知らせします。

県民の皆さんの計画です

皆さんは「県の総合計画」と聞いても、自分たちには関係のない遠い話だと思いませんか？

総合計画とは、私たちの郷土「とちぎ」の将来の姿を描き、その実現に向けての考え方や目標、県の仕事のすめ方をまとめたもの。県が、県

民の皆さんや企業、団体、市町村と一緒に考えて取り組む五年間の計画なのです。ですから、総合計画とは、県民の皆さんがこれからの「とちぎ」づくりを一緒に考えて、行動していくための共通の目標というようになります。

たくさんの方の意見を反映するために

さて、計画はどのように策定されるのでしょうか。まずは、県民の皆さんが抱える悩みや課題をしっかりと把握し、そして、皆さんの夢や希望が反映される計画でなければなりません。

そのため、計画策定の検討会である懇談会で、さまざまな分野の有識者や公募の方々から意見をいただいています。また、生活の関心事や現在の県政の評価、これからの行政への期待などについて、一般の方、高校生、市町村長へのアンケート調査を行いました。このほか、集会広聴やご意見募集などで、皆さんの声をいただいています。第1次素案は、こうした声を取り入れながら作成されました。今後、この素案に対する意見を募集し、さらに具体的な政策づくりにすすめていきます。

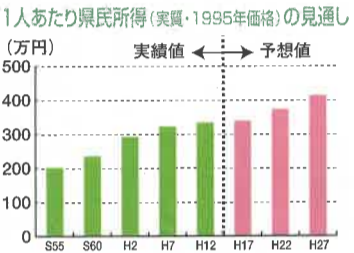
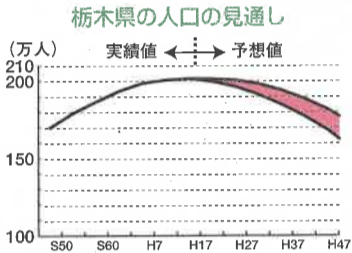


第1次素案の概要をお知らせします

第1次素案では、人口や経済の見通しなどの面から、「とちぎ」の姿をとらえています。そのうえで、「とちぎ」の将来像や目標、進むべき方向を示しています。

「とちぎ」を見る

栃木県の人口は、少子化などの影響で、ここ数年をピークにその後ゆるやかに減少していくと予測されています。



「とちぎ」を動かす

とちぎの将来像として「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎ」を掲げています。

- 県民一人ひとりが主役の「とちぎ」
- 県民が協働する「とちぎ」
- 地域が自立する「とちぎ」
- 県政の基本方向
 - 1 県民生活を支える五つの視点から、次の基本目標を設定しています。
 - 2 知恵にあふれ心豊かな人づくり
 - 3 いのちをやさしく見守る社会づくり
 - 4 確かな技術と創造性に富む産業づくり
 - 5 安全の暮らしを支える環境づくり
- 新たな自治の基盤づくりのために
 - 1 「新たな公(おおやけ)」を拓く
 - 2 地方分権時代にふさわしい体制を構築する
 - 3 効率的で効果的な行政システムを確立する

「協働」とは?

ひとつの共通の課題に対し行政だけでなくNPOや企業、団体などさまざまな立場の人たちが対等な関係のもとで連携していくことを言います。

新しい総合計画の第1次素案へのパブリック・コメントを募集中!

パブリック・コメントとは、県が計画等をつくる際に、県民の皆さんの意見を反映させていく手続きです。お寄せいただいたご意見は十分に考慮のうえ、計画に反映するとともに、内容ごとに整理・分類したうえで、これに対する県の考え方を公表します。

- 資料の閲覧場所 県ホームページ(<http://www.pref.tochigi.jp/nexplan/index.html>)
文書学事課情報公開相談室(北庁舎2号館1階)、各県民センター
- 募集締切 3月31日(木)
- 提出方法 住所・氏名・電話番号を記載し、郵送・FAX・Eメールで
- あて先・問合せ 郵送 〒320-8501(住所不要) 県企画調整課
FAX) 028-650-2045 [E] kikaku@pref.tochigi.jp

今後のスケジュール

- 17年11月 第2次素案公表
- 18年2月 新しい総合計画決定
- 4月 新しい総合計画スタート

新しい総合計画に期待します! ~栃木県総合計画懇談会委員の声を届けます~

県民の「参画と協働」

この計画では、「県民参加の「とちぎ」づくり」を強く打ち出しています。特に、「新たな公(おおやけ)」という新しい言葉が出ていますが、これは「参画と協働」をひとまとめに表現したものです。

既に地域ではNPOやボランティアの活動が広がりをみせており、県民一人ひとりが社会貢献をしていく時代。こういった社会の力が「新たな公(おおやけ)」であると思います。今までの県民参加は、どちらかという行政から与えられた枠組みの中への参加でしたが、これからは枠組みそのものを県民自ら検討し、実現していく社会になっていくでしょう。県民の方が計画に関わるには、まず、計画を理解して、その中から自分が参画できるものを探りあてていくことです。県民の皆さんが参画できる部分をできるだけ増やしていくこと、それが懇談会の役割でもありと考えています。



懇談会会長
藤本 信義さん
(宇都宮大学教授)

これからのまちづくりの指針

計画づくりに携わって感じるのは、とにかく、県民の方々に読んでもらい、参加できる計画をつくらなければならないということです。この計画は県だけでなく、これからの地域のまちづくりの指針となるもの。県が力を入れているものは、当然、市町村にとっても重要な課題です。新しい計画では、「地方分権」や「市町村重視」といったことが大きく取り上げられています。われわれ市町村の職員は、その期待に応えていかなければなりません。

住民の方は自分に直接関係することに興味が集まりがちです。例えば、子育て中の方は保育所や学校の問題、高齢者の方は介護問題というように、さまざまな課題に対して、それぞれに温度差があります。これからの策定作業では、そういった声をいかに公平に計画に反映していくかが、重要になってくると思います。



懇談会委員
八木澤 昭雄さん
(栃木県町村会会長)

お互いの認識のずれを少なくしたい

私は以前、不登校問題に関わってきました。この問題で学校側の対応に疑問を感じたことがあり、その時に社会に対する不信感が生まれました。この懇談会の委員の募集を目にしたとき、「こういう場で言わないと同じことが繰り返されるのでは」と思い、思い切って応募しました。最初は一番若い委員ということもあり、勉強のつもりで参加していましたが、もっと声を出していかなければと感じているところです。

行政、学校、家庭といった社会のつながりの中で、お互いの「認識のずれ」というものをずっと感じていて、そのずれをできるだけ少なくしたいと思っています。社会は複雑さを増していますが、どのような状況にあっても、人が求めるものは温かさや優しさ、幸せではないでしょうか。社会に対して、少しでも考え合えるきっかけがあるならば、私は発言していきたいと思っています。



懇談会委員
吉柴 美奈子さん
(公募委員)

問合せ 県企画調整課
TEL 028-650-2045

ふるさと散歩
春の催し盛りだくさん
県営都市公園編

緑の相談所の催し

井頭公園 真岡市下龍谷99 ☎0285-82-4475

展示「ボタニカルアート展」
●3/21(月)まで ●入場無料
講座「井頭公園の植物に親しむ」
●4/24(日)午前9時30分～11時30分 ●定員 先着35名 ●参加無料 ●申込みは3/24(木)から電話で



栃木県中央公園 宇都宮市陸町2-50 ☎028-636-7621

展示「栃木の野鳥写真展」
●3/17(木)～27(日) ●入場無料
講座「春を彩るコンテナガーデニング」
●4/17(日)午前10時～正午 ●定員 先着30名
●参加料 3,000円 ●申込みは3/17(木)から電話で



那須野が原公園 那須塩原市千本松801-3 ☎0287-36-1220

展示「都市公園写真コンクール作品展」
●3/18(金)～28(月) ●入場無料
講座「竹垣の作り方」
●4/17(日)午前10時～正午 ●定員 先着35名 ●参加無料 ●申込みは3/17(木)から電話で



みかも山公園 岩舟町大字下津原1747-1 ☎0282-55-7733

展示「早春の花写真展」
●3/31(木)まで ●入場無料
講座「文芸教室 万葉人の恋人」
●4/24(日)午前10時～正午 ●定員 先着20名
●参加無料 ●申込みは3/24(木)から電話で



日光だいや川公園 今市市瀬川844 ☎0288-23-0208

展示「さのこ絵画展」
●3/17(木)～27(日) ●入場無料
講座「竹工芸教室(全3回)」
①4/10(日)②4/17(日)③4/24(日)午前10時～正午 ●対象 全3回とも参加できる方 ●定員 先着30名 ●参加料 4,000円 ●申込みは電話で



ニュースポーツ広場でグラウンドゴルフを楽しもう

緑の相談員より

日光だいや川公園は、日光連山のすばらしい眺めの中で、心も体もリフレッシュできる公園です。緑の相談所では、緑に関するさまざまな相談をお受けしています。催しもたくさんあるので、ぜひ来園ください。(根本 榮さん)



※緑の相談所の利用時間は午前8時30分～午後4時30分、火曜定休(祝日の場合は翌日)

とちぎわんぱく公園の催し

壬生町大字国谷2273 ☎0282-86-5855

いつでも・どこでもみんなでのしょう！
●3/27(日)①午前10時～正午②午後1時～3時 ※雨天中止
●内容 レクリエーションゲームにチャレンジしよう ●当日直接会場へ



ベエゴマであそぼう！

●4/3(日)①午前10時～正午②午後1時～3時 ●内容 昔なつかしいベエゴマあそび。家族みんなでチャレンジしてみよう ●教材費 130円 ●当日直接会場へ

コーラスをたのしょう！

●4/30(土)①午前11時30分～②午後2時～ ●内容 シルバール大学の卒業生による楽しいコーラス ●当日直接会場へ



皆さん、母子健康手帳でご存じですよね？妊娠届けを提出した際に、市町村の窓口で受け取り、妊娠の経過や子どもの成長の記録などが記入できる手帳です。その父親版が「父子手帳」です。父親向けの子育てアドバイスが掲載されていて、子どもの成長記録や節目節目の思い出などを記入できるものです。子どもが成長したときに、父親の愛情を刻み込んだ最高のメッセージとなる手帳です。

●父親向け子育てポイントを掲載
妊娠・出産・育児について、母親の身体や精神状態に合わせてサポートの仕方や、子育てのポイントをまとめています。父親にできること、父親にしかできないことなど、子育てに関する基礎知識を掲載しています。

●子育て中の写真やメッセージを書き込みます
妊娠中の母親、生まれたばかりの我が子、ミルクを飲む姿、はじめてのハイハイなどの記念の写真を張ったり、その時感じたことを書き込んで

1秒でも長く子どもと一緒に

～「お父さんの子育て奮闘記」最優秀賞に選ばれたお父さんより～

この作文に応募したのは、保育園でチラシをもらったのがきっかけ。自分のためにも、子どものためにも、今までの子育てを振り返る良い機会となりました。



根本博行さんと慧吾くん(5才) (真岡市在住)

私の仕事の関係もあり、子どもと一緒に居る時間が少ないのですが、一秒でも長く一緒にいたいと思いついています。特に我が家は父子家庭ということもあり、どうしても生活することに必死になってしまっていますが、これからは子どもと一緒にキャッチボールなどで楽しむこともやっていきたいですね。私の育児は本当に自己流。育児の情報はほんらんしているのが悩みでもあります。子どものことを一番良く知っているのは自分だと思えますので、自分のやり方でやっています。親に余裕がないと子どもにも伝わりますから、息抜きしながら子育てすることも大切だと思えますね。

父子手帳ってなに？
皆さん、母子健康手帳でご存じですよね？妊娠届けを提出した際に、市町村の窓口で受け取り、妊娠の経過や子どもの成長の記録などが記入できる手帳です。その父親版が「父子手帳」です。

どんなことが書いてあるの？
●子育てカレンダーを掲載
妊娠中、出産、育児：子どもが六歳になるまで順を追って、母親の身体の状態や子どもの成長の状態がひと目でわかるカレンダーを掲載しています。

●「お父さんの子育て奮闘記」を紹介
「お父さんの子育て奮闘記」の入賞作品を掲載しています。家庭円満の秘訣や子育てテクニックなど、先輩の声を参考にしてみたいかがでしょうか。

父子手帳の交付

- 妊娠届けを市町村の窓口で提出したときに、母子健康手帳と一緒に配布されます
 - 4月1日から配布します
 - 父子手帳に掲載されている「お父さんの子育て奮闘記」はとちぎ青少年子ども財団のホームページ(<http://www7.ocn.ne.jp/~kodomo/index.html>)でご覧いただけます
- ◇問合せ 県児童家庭課 ☎028-623-3068
とちぎ青少年子ども財団 ☎028-621-1611

父子手帳ができました！
もうすぐパパになるあなたへ



県政トピックス

Topics 1 とちぎのいちごや野菜を東京でPR

二月九日、東京都中央卸売市場大田市場で、栃木県産いちご野菜のPR活動が行われました。福田知事は市場関係者へ「とちぎのいちごの安全性とおいしさをアピール。また、トマト、にら、ねぎなどの野菜を展示し、とちぎの青果物をPRしました。」とおちとめを試食した方からは、「甘くておいしい」との声



たくさんの花が飾られた会場は、花の香りに包まれていました

Topics 2 春の花の便り花フェスタを開催

二月十八日から二十日まで、小山市にある県南体育館で「とちぎ花フェスタ2005 inおやま」が開催されました。これは、県内最大級の花の祭典です。三日間で約三万九千人が来場し、色とりどりの花や展示を楽しみました。会場では、フラワーアレンジメント教室や花のオーナメントなどが行われました。

Topics 3 新しい「佐野市」が誕生

二月二十八日、佐野市、田沼町、葛生町が合併してひとつになり、新しい「佐野市」が誕生しました。平成の大合併では、一月一日の那須塩原市に次いで県内で二つ目。新しい佐野市の市域は、昔から歴史や経済、文化が同じと言われていた地域です。人口は約十二万七千人で、県内では四番目の人口規模となりました。開庁式では、それぞれの庁舎の玄関前でくす玉割りなどを行い、新しい市の誕生を祝いました。



本庁舎の開庁式には多くの職員が参加し、立川市長職務執行者が代表でくす玉を割りました



ネコヤナギ(ヤナギ科)

雪解けに合わせて猫のしっぽのような花を咲かせます。リュウジョと呼ばれる綿のような実を付け、春風に飛んでどこまでも飛んで行き根付く、そんな力強い樹木です。

ウォッチングポイント

開けた荒地や河原などにポツンと生えているのをよく見ます。公園の樹木としても植えられています。



県民の森「森の集い」

◎好きです！春の花
●県民の森を歩きながら、春の訪れを告げるカタクリやスミレを観察しよう
●4/6(水)
午前9時～正午
●定員 先着30名
●参加無料
■同管理事務所 ☎0287-43-0479

なかがわ水遊園の催し

◎特別展「へえ～と納得！魚の名前」
●3/15(火)～5/8(日)
●日本一長い名前の魚や、まだ名前のない魚、「アイソ」や「サインボ」など栃木県内で呼ばれている魚の名前や由来を学ぼう。雑魚の試食会やクイズ大会もあります



パンダダルマハゼ

◎スプリングスペシャル
●3/19(土)～4/10(日)
●春休み期間中、さまざまな催しを企画しています。ぜひお越しください
●探検!! なかがわ水遊園
●園内1周のスタンプラリー
●期間中の土・日曜、祝日
●創作工房
●期間中、毎日講座を開催
●バックヤードツアー
●水族館のバックヤードをのぞいたり、お魚に触れたりするツアー
●期間中の土・日曜、祝日
■同園 ☎0287-98-3055

点字・声の広報のご案内

●視覚に障害のある方のために、点字と音声(カセットテープ)による広報を毎月1回発行しています。ご希望の方は県広報課(☎028-623-2192)へご連絡ください

市町村への権限委譲をすすめています

●4月から、新たに次の事務が全市町村へ委譲されます
【国有財産法に基づく事務の一部】
◎国有財産(準用河川敷及び市町村道敷)の調査または測量のための他人の土地への立ち入りなど※宇都宮市については平成16年4月から委譲済み
■県行政改革推進室 ☎028-623-2225

文化情報 子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555 ●月・第4木曜
●春の企画展「Let's探検エネルギー～昔・今・未来への旅～」
●4/10(日)まで エネルギーと私たちの生活について広く紹介します
●年少向けプラネタリウム新番組「あひるのクーちゃん」
●一般向けプラネタリウム新番組「コンピューターが解き明かす宇宙～シミュレーション天文学～」

文化情報 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566 ●月曜日
●小泉斐と高田敬輔
～江戸絵画にみる画人たちのネットワーク～
●3/27(日)まで
●鮎画で有名な小泉斐とその師高田敬輔の画業を紹介
●3/19(土)午前9時から小泉斐ゆかりの地、益子・茂木・黒羽の朝市を開催。

文化情報 県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312 ●月曜日
●テーマ展◎「おじいさんやおばあさんの子供のころの暮らし」
●「行列図の世界」室町時代の狩野派
●「栃木県の脊椎動物化石」
●「観察会「春の磯をのぞいてみよう」」

文化情報 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010
●ロシアバレエフェスティバル
●5/22(日)午後5時開演
●出演/市川海老蔵、市川團十郎他
●11代目市川海老蔵名披露松竹大歌舞伎公演
●7/16(土)午後1時/午後5時開演
●出演/市川海老蔵、市川團十郎他
●4/8(金)発売開始
●瀬戸内寂聴講演会「切に生きる」



募集・講座

よい歯のコンクールに参加してみませんか
●部門 ①親と子のよい歯のコンクール②3歳児よい歯のコンクール
●対象 平成16年4月1日～平成17年3月31日までの間に3歳児健診を受け、むし歯がなく健康な幼児または親子
●応募方法 市町村窓口にある所定の申請書に記入して申込みください
●募集締切 4月28日(木)
■各市町村窓口または県健康増進課 ☎028-623-3094

内閣府「青年国際交流事業」の参加者を募集しています

◎国際青年育成交流事業 訪問国 チリ共和国、ドミニカ共和国、ハンガリー共和国、ヨルダン・ハシメット王国、ミャンマー連邦(うち1カ国)
●9月のうち25日間程度
◎日本・中国青年親善交流 訪問国 中国
●9月のうち19日間程度
◎日本・韓国青年親善交流 訪問国 韓国
●9月のうち15日間程度
◎世界青年の船 訪問国 インド、ケニア、モリシャス
●平成18年1月～3月のうち43日間程度
◎東南アジア青年の船 訪問国 ブルネイ、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム
●11月～12月のうち43日間程度
◎募集締切 3月25日(金)
●詳細は問合せを
■各市町村青少年行政主管課または県女性青少年課 ☎028-623-3075

農業大学校で研修を開催します

●農業大学校では、農業を行っている方やこれから始めようとする方、一般の方を対象に研修を行っています
●農営技術研修・新規就農希望者研修・消費者研修など21コースをご用意しています
●詳細は問合せを
■同校 ☎028-667-4944

れから始めようとする方、一般の方を対象に研修を行っています
●農営技術研修・新規就農希望者研修・消費者研修など21コースをご用意しています
●詳細は問合せを
■同校 ☎028-667-4944

案内

インターネットを利用してパスポートの申請ができます
●3月31日から電子申請ができます
●電子申請するためには「公的個人認証サービスの電子証明書が記録された住民基本台帳カード」及び「カードリーダーデバイス」が必要です
●お住まいの市町村窓口へお問い合わせください
●署名と写真は電子送信または郵送のいずれでも可能ですが、戸籍抄(謄)本及びはがきは別途郵送してください
●旅券センター(宇都宮市)、県北県民センター(大田原市)、県南県民センター(栃木市)のいずれか希望の窓口へ向いて旅券を受け取ることとなります
◎問合せ 県旅券センター ☎028-638-3811

旧塩原町に関する林務行政の窓口が変わります

●1月1日に那須塩原市が設置されたことに伴い、これまで矢板林務事務所が所管していた旧塩原町に関する業務が、4月1日から大田原林務事務所に変更となります
●変更となる業務 森林法(保安林関係・林地開発許可関係)・自然公園法・とちぎふるさと街道景観条例等の許認可の窓口、山地災害・林野火災・鳥獣被害・傷病鳥獣救護等の連絡先
■矢板林務事務所 ☎0287-43-0427、大田原林務事務所 ☎0287-23-6363

ご存じですか? 障害のある方への手当制度

◎特別障害者手当 手当月額 26,520円
●対象 日常生活で常時特別の介護が必要な重度の障害者(20歳以上)※施設入所者を除く
◎障害児福祉手当 手当月額 14,430円
●対象 日常生活で常時介護が必要な重度の障害児(20歳未満)※障害を支給理由とする公的年金の受給者と施設入所者を除く
◎特別児童扶養手当 手当月額 1級(重度)

「クローバー～ピアルーム～」が移転します
●「クローバー～ピアルーム～」は、自分のこと、友達のことなど、思春期の悩みや不安を同じ年代の仲間と相談できる場です
●4月2日(土)にラパーク長崎屋2階に移転します
●お気軽にお越しください
●利用時間 毎週土・日曜の午後1時～6時
◎電話相談 ☎028-632-0881
◎メール相談(peerroom1020@rapid.ocn.ne.jp)
◎医師による相談 毎月第4土曜(要予約)
■県児童家庭課 ☎028-623-3064

7 information とちぎテレビ
県の広報番組
特別番組 ようこそ!「やすらぎの栃木路」へ
●3月19日(土)20:00～20:30
●(再)3月20日(日)18:30～19:00
●女優の小田茜さんが、塩原温泉郷と那須高原を旅します。高根大根の漬物づくりやシルバージュエリーづくりなど、いろいろなた体験を通してふるさととちぎを再発見します

Table with columns for date, time, and event details for 'クローズアップとちぎ' and 'なるほど!とちぎ'.

Table with columns for date, time, and event details for 'とちぎのオンリーワン'.

Table with columns for date, time, and event details for '県政ひとくちメモ' and 'とちぎ教育新事情'.